

第2章 「交野の歴史文化」の概要と取組み

2-1. 「交野の歴史文化」の概要

(1) 「交野の歴史文化」の現状

① 「交野の文化財」と「周辺環境」の現状

序章に示しましたように本計画の対象は「交野の歴史文化」です。本市では、「交野の歴史文化」を「交野の文化財」と「周辺環境」に区分します。近世の8か村を継承する星田・傍示・寺・森・郡津・倉治・私市・私部の旧村域を中心にして、市全域に分布しています。

このうち、本市で把握した「交野の文化財」は、令和3(2021)年12月現在において、合計6,825件(指定28件、未指定6,797件)を数えます。「交野の文化財」で最も多いものは、美術工芸品の考古資料で、指定文化財が4件と未指定文化財が4,768点あります。大半が発掘調査による出土品で、全て報告書等に掲載された資料です。2番目に多いのは建造物で、670件を数えます。次いで多いのが、有形の民俗文化財で、601点があります。全て未指定文化財で、大半は市内各所から収集した民具資料で、報告書に掲載された市所蔵資料592点と、寺社等が所蔵する資料9点があります。さらに、美術工芸品の彫刻が続きます。「周辺環境」で最も顕著なものは、自然・歴史的環境です。その多くは山間部にある文化財をとりまく自然環境と、平野部にある文化財をとりまく歴史的環境に分かれます。また文化財を支える人々の活動も地区によって差が生じています。

② 地区別分布状況

市が管理している美術工芸品や民俗有形文化財は、指定・未指定を問わず倉治地区の交野市立教育文化会館で展示・保管しています。また、個人や社寺等が地元で管理している文化財をみると、次のような傾向が分かります。

【星田地区】 指定等文化財は4件を数えます。その内訳は薬師寺や星田寺の仏像のほか、歴史資料の「神祖宮趾之碑」があります。現在は教育文化会館で保管される市指定文化財「星田村地詰帳」、「星田村絵図」も星田の歴史を語る貴重な古文書です。未指定文化財では、星田神社の「だんじり」2基が文化財的価値も高く、地元では保存会を組織し、活用にも取り組んでいます。

【傍示地区】 国指定重要文化財の仏像が1件あります。仏像は収蔵庫を兼ねた本堂で保管されています。当地区は奈良県との府県境にあり、山間の棚田など古き良き文化的景観と収蔵庫周辺の自然・歴史環境が維持されています。

【寺地区】 指定等文化財は国重要文化財の「山添家住宅」があり、周辺には古い町並みが残る歴史的環境が維持されています。そのほか、大阪府史跡の「交野東車塚古墳」が、大阪府立交野高校内に保存されています。また、出土品の一括資料は倉治地区の教育文化会館において保管しています。

【郡津地区】 指定等文化財は存在していませんが、東高野街道が南北に通り、その街道沿いでは古い町並みが残る歴史的環境が維持されています。

【森地区】 指定等文化財は、市指定の「紙本著色石清水八幡宮放生会絵巻」があります。市指定文化財の歴史資料は2点しか存在せず貴重なものです。また、無住になった寺の仏像を倉治地区の教育文化会館で保管しています。そのほか、市内で最古の前方後円墳を含む森古墳群が存在しますが、古墳群及び周辺の森林の手入れが不十分のため、保存・活用の環境が維持されていない箇所が目立っています。

【私市地区】 8件の指定等文化財があります。同地区の指定等文化財は、自然環境に関わるものが多く、地区の中でも山地や河川に広く分散して所在しています。また、国宝の仏像が市内で唯一存在することも地区の特徴です。地区独自の文化財に関する委員会を立ち上げ、周辺環境の整備にも取り組んでいることが特筆されます。

【倉治地区】 指定等文化財は9件を数えます。その内、7件は教育文化会館に収蔵されているものです。この地区の指定等文化財で特筆すべきは、市のシンボルといえる交野山の観音岩周辺の発掘調査で出土した「廃岩倉開元寺出土懸仏」と、旧参拝道沿いの5体の石仏から構成される「廃岩倉開元寺石仏群」（石仏の道）です。地元の清掃活動により交野山周辺の自然・歴史的環境は守られています。また、七夕祭が有名な機物神社から西側に広がる旧集落においても、歴史的環境が維持されています。

【私部地区】 指定等文化財の件数は3件です。その内、国重要文化財の「北田家住宅」と国登録文化財の「山野家住宅」の存在は、周辺の町並みの歴史的環境を保存するためにも好影響を及ぼしています。また、市史跡の「私部城跡」は、市内で唯一の平地城郭跡で、木陰もあり、私部地区北部の自然環境に寄与しています。城跡の大半は民有地で、土地所有者個々の協力により歴史的環境が保全されています。

表：「交野の文化財」地区別件数一覧（令和4年9月現在）（ ）の数は指定等文化財の件数を示す

種類・地区		星田	傍示	寺	森	郡津	倉治	私市	私部	合計	
有形文化財	建造物		138	5	67(1)	34	83	131(1)	103(3)	109(2)	670(7)
	美術工芸品	絵画	13	0	0	7	5	14	2	26	67(0)
		彫刻	114(3)	14(1)	23	22	30	33(2)	58(4)	44	338(10)
		工芸品	8	0	0	5	3	1	5	2	24(0)
		書跡・典籍	3	0	0	1	1	3	0	14	22(0)
		古文書	8	0	3	6	7	38(2)	2	33	97(2)
		考古資料	0	0	0	0	0	4,772(4)	0	0	4,772(4)
		歴史資料	1(1)	0	0	1(1)	0	0	0	0	2(2)
	合計		285(4)	19(1)	93(1)	76(1)	129(0)	4,992(9)	170(7)	228(2)	5,992(25)
無形文化財		0	0	0	1	0	3	1	1	6(0)	
民俗文化財	有形	2	0	1	1	0	593	2	2	601(0)	
	無形	10	3	8	5	4	9	11	16	66(0)	
	合計	12	3	9	7	4	605	14	19	673(0)	
記念物	遺跡（埋蔵文化財）		遺跡分布地図（文化財一覧表）参照								66(2)
	名勝（名勝地）		6	0	3	1	1	2	6(1)	2	21(1)
	植物、動物、地質鉱物		（樹木・樹林・花・鳥指定一覧表）参照								21(0)
	合計		—								106(3)
文化的景観		3	3	1	0	1	5	5	5	23(0)	
伝統的建造物群		2	1	1	1	3	2	1	1	12(0)	
文化財の保存技術		0	0	0	0	0	0	0	0	0(0)	
「交野の文化財」合計		308(4)	26(1)	107(1)	85(1)	138(0)	5606(9)	196(8)	255(2)	6,825(28)	

表：指定等文化財地区別件数一覧

類型・地区		星田	傍示	寺	森	郡津	倉治	私市	私部	総数
指定	国	0	木工 1	建造 1	0	0	0	木工 1	建造 1	4
	府	0	0	史跡 1	0	0	木工 1	名勝 1 木工 1	0	4
	市	木工 4	0	0	木工 1	0	木工 7	木工 2	史跡 1	15
登録	国	0	0	0	0	0	建造 1	建造 3	建造 1	5
総 数		4	1	2	1	0	9	8	3	28

（２）「交野の文化財」の概要

①有形文化財

【建造物】 江戸時代に建てられた代官・庄屋屋敷である私部地区の「北田家住宅^{きただけじゅうたく}」と、寺地区の「山添家住宅^{やまぞえけ}」の2件が国指定重要文化財となっています。「北田家住宅」は主屋、表門、乾蔵、北蔵の4棟が指定され、土塀、撥木納屋、家相図が附指定となっています。「山添家住宅」は主屋1棟が指定され、板(棟)札1枚が附指定となっています。いずれも近世以降の町並が残る交野市を代表する文化財です。

また、5か所の国登録文化財があります。「交野市立教育文化会館」は、昭和時代初期建設の金融会社の本社屋で、スクラッチタイル張りの鉄筋コンクリート造による近代建築の姿を良好に残しています。

「山野家住宅」には主屋や現在も操業中の酒蔵を含む、江戸時代末期から明治時代の建物6件があります。このほかに、明治時代に真砂土の流出が顕著であった天野川と尺治川の合流部付近に設置された石造りの「尺治川砂防堰堤」と「尺治川床固工」及び「天野川砂防堰堤」の3件の土木構造物があります。

未指定文化財としては伝統的な集落や街道沿いに住宅・土蔵が数多く残ります。このほか、近世以後の寺社建築も多く残ります。星田地区の「光林寺本堂・表門」は、18世紀前期と市域において古い年代の寺院建築を伝えており重要です。また、私部地区の「住吉神社本殿」は、江戸時代に奈良春日大社より移されたもので、同社の「大鳥居」も建築年代等の記録も残る点で価値が高いものです。

伝統的な集落や街道沿いに江戸時代以降の民家や社寺などの建築が多く残るとともに、明治時代以後の近代化に関わる建造物も見ることができるのが本市の特徴といえます。

【美術工芸品（絵画）】 指定等文化財はありません。未指定文化財としては、倉治地区の機物神社が所蔵する「十六善神図」が室町時代頃の制作と考えられており、市内の絵画（美術工芸品）としては最古の例として特に貴重です。このほかにも中世以降の宗教絵画が各地区の寺社を中心に所蔵されており、本市域における信仰を伝えていきます。

【美術工芸品（彫刻）】 指定文化財は10件（国2件、府規則1件、市7件）を数えます。国宝「木造薬師如来坐像」（獅子窟寺）、国指定重要文化財「木造阿弥陀如来立像」（八葉蓮華寺）があります。府規則指定「石造地藏菩薩立像」（河内私市惣墓）は、弘安4（1281）年の銘が残り、年号を残す石仏としては大阪府内で最古の例とされます。市指定では、平安時代後期の「木造十一面観音立像」（星田寺）、南北朝時代の「阿弥陀如来立像」（^{しょうでんじ}廃常徳庵）、室町時代の「木造薬師如来立像」及び「木造千体仏」（星田薬師寺）、平安時代及び室町時代の「木造聖観音立像」



木造薬師如来坐像（獅子窟寺）

及び「木造如意輪観音坐像」（廃千手寺）、鎌倉時代から室町時代の「廃岩倉開元寺石仏群」（通称：石仏の道）があります。

未指定のものでは、交野山山頂の梵字を刻んだ花崗岩の巨石（通称：観音岩）が多くの市民に知られています。そのほか、各地区の寺社を中心に、木造・石造の仏像が多く確認されています。星田地区の慈光寺の十三石仏、傍示地区の石仏群、郡津地区の明遍寺の九重石塔や石造仏群など中世から近世のものが多くあります。

本市においては古代後半以降の木造・石造の仏像が多く保存され、中でも山間地における信仰によってもたらされたものが多いことが特色となっています。

【美術工芸品（工芸品）】 未指定文化財として、私市地区の吉向松月窯で保存されている江戸時代末期以降の焼き物群があります。なお、初代吉向などの作品のうち大阪府所蔵品が、大阪府指定文化財の「府立大阪博物館旧蔵美術工芸品」に含まれています。

【美術工芸品（書跡）】 指定等文化財はありません。未指定文化財では、倉治地区の善通寺所蔵の「六字名号」や「十字名号」をはじめとして、浄土真宗等の信仰に関わる書跡が、市内の伝統的集落に所在する寺社に残ります。

【美術工芸品（古文書）】 市域に多く残る村方文書を代表するものとして、江戸時代の検地に伴い作成された台帳である「星田村地詰帳」と、本市で最古の元禄 10 (1697) 年絵図を含む「星田村絵図」の 2 件が、市指定文化財になっています。いずれも星田村の基礎的な史料として重要なものです。

未指定のものとして「私部村庄屋文書」、「森村庄屋文書」など、近世の村方文書群が保存されています。これらは、江戸時代の村々の様子を知るために欠かせない史料です。各地区の伝統的集落の中で多く保存されてきたことも特徴です。

【美術工芸品（考古資料）】 「交野東車塚古墳出土品」が大阪府指定文化財となっています。これは古墳時代中期の王の埋葬施設に伴う甲冑・刀剣をはじめとした一括資料です。点数は金属器（武器・武器・農耕具など）が 146 点、石製品（玉類など）が 2,600 点以上、埴輪が 66 点を数えます。

市指定文化財としては 3 件あり、そのうち 1 件は、古墳時代後期の「倉治古墳群出土品」一括資料で、土器 22 点、金属器 72 点、玉類などの装飾品及び石製品 147 点があります。このほかに中世の山岳仏教に関わる市指定文化財として、「はいいわくらかいげんじしゅつどかけぼけ廃岩倉開元寺出土懸仏」2 点と、「ししゅくつじしゅつどほんもんこうみょうしんごんごくめいがしつどき獅子窟寺出土梵文光明真言刻銘瓦質土器」1 点があります。

未指定の考古資料としては、各遺跡の採集・出土資料が多数あります。その年代は旧石器時代から江戸時代までに及びます。主要なものとしては、近畿地方の縄文時代早期の標識土器となっている神宮寺遺跡出土の縄文土器群や、古墳時代の鉄器生産を示す森遺跡の鍛冶関連遺物群、古代の長宝寺跡関連遺物群があります。未指定の考古資料の内訳は、土器が 2,344 点、石製品（石器含む）549 点、瓦類が 755 点、埴輪 220 点、金属器 430 点、木製品 114 点、その他等 356 点の合計 4,768 点を数え、教育文化会館において展示・保管をしています。

考古資料については、特に古墳時代を通した王の存在を示す古墳出土資料や、その膝元に展開した集落遺跡や鍛冶生産遺跡の出土資料が多いことが本市の特徴といえます。



交野東車塚古墳出土品（玉類）

表：指定等文化財一覧

	指定	分野	種別	種別2	名称	所有者等	文化財所在地 (管理者)	指定年月日
1	国	国宝	美術工芸品	彫刻	木造 薬師如来坐像	獅子窟寺	交野市私市	S43. 3. 16
2	国	重文	建造物	建築物	山添家住宅	個人	交野市寺	S44. 6. 20
3	国	重文	建造物	建築物	北田家住宅	個人	交野市私部	S54. 2. 3
4	国	重文	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像	八葉蓮華寺	交野市傍示	S60. 6. 6
5	国	登録	建造物	建築物	山野家住宅 主屋 長屋門 酒蔵一 酒蔵四 蔵 土塀	個人	交野市私部	H15. 1. 31
6	国	登録	建造物	建築物	交野市立教育文化会館 (旧交野無尽金融株式会社 本社屋)	交野市	交野市倉治	H19. 12. 5
7	国	登録	建造物	工作物	天野川砂防堰堤	大阪府	交野市私市	H15. 1. 31
8	国	登録	建造物	工作物	尺治川砂防堰堤	大阪府	交野市私市	H15. 1. 31
9	国	登録	建造物	工作物	尺治川床固工	大阪府	交野市私市	H15. 1. 31
10	府規則	府重美	美術工芸品	彫刻	河内私市惣墓 石造 地藏菩薩立像	私市区	交野市私市惣墓	S34. 9. 25
11	府条例	府有形	美術工芸品	考古	交野東車塚古墳出土品	交野市	交野市倉治	H6. 12. 12
12	府条例	府史跡	記念物	史跡	交野東車塚古墳	大阪府	交野市寺南野	H3. 3. 29
13	府条例	府史跡	記念物	名勝	磐船峡	国ほか	交野市私市	H30. 3. 23
14	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 薬師如来立像	薬師寺保存会	交野市星田	H2. 6. 1
15	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 十一面観音立像	星田寺	交野市星田	H2. 6. 1
16	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 千体仏 薬師如来立像(472 軀) 地藏菩薩坐像(192 軀) 地藏菩薩立像(5 軀) 菩薩形立像(2 軀)	薬師寺保存会	交野市星田	H2. 6. 1
17	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 聖観音立像	私市区	交野市私市	H4. 8. 1
18	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 如意輪観音坐像	私市区	交野市私市	H4. 8. 1
19	市	市有形	美術工芸品	彫刻	廃岩倉開元寺石仏群 石造弥勒仏坐像 摩崖三尊像 石造阿弥陀如来立像 摩崖阿弥陀三尊像 石造二尊立像	倉治区	交野市倉治	H14. 9. 1
20	市	市有形	美術工芸品	彫刻	木造 阿弥陀如来立像	交野市	交野市倉治 (教育文化会館)	H19. 11. 1
21	市	市有形	美術工芸品	古文書	星田村地誌帳	交野市	交野市倉治 (教育文化会館)	H18. 9. 1
22	市	市有形	美術工芸品	古文書	星田村絵図 元禄十年星田村絵図 天保十四年星田村絵図 星田村大絵図	交野市	交野市倉治 (教育文化会館)	H18. 9. 1
23	市	市有形	美術工芸品	考古	獅子窟寺出土梵文光明真言 刻銘瓦質土器	交野市	交野市倉治 (教育文化会館)	H12. 4. 1
24	市	市有形	美術工芸品	考古	倉治古墳群出土品	交野市	交野市倉治 (教育文化会館)	H12. 4. 1
25	市	市有形	美術工芸品	考古	廃岩倉開元寺出土懸仏 銅造千手観音坐像 銅造独尊坐像	交野市	交野市倉治 (教育文化会館)	H19. 11. 1
26	市	市有形	美術工芸品	歴史	紙本著色 石清水八幡宮放生 会絵巻	個人	交野市森南	H19. 11. 1
27	市	市有形	美術工芸品	歴史	神祖當趾之碑	個人	交野市星田	H22. 9. 1
28	市	市史跡	記念物	史跡	私部城跡	交野市	交野市私部	H30. 10. 1

表：地区別指定等文化財及び主要な未指定文化財

地区名	指定等文化財	主な未指定文化財
寺	(国重文) 山添家住宅 (府史跡) 交野東車塚古墳	(有形文化財・彫刻) 不動明王梵字碑 (記念物・遺跡) 塚穴古墳（寺古墳群）、大畑古墳 (記念物・名勝地) 竜王石 (文化的景観) かいがけの錦繡
郡津		(有形文化財・彫刻) 明遍寺石造物群 (記念物・遺跡) 郡津丸山古墳、長宝寺跡 (文化的景観) 東高野街道
森	(市有形) 紙本著色 石清水八幡宮放生会絵巻	(無形の民俗文化財) 石清水祭への参列 (記念物・遺跡) 雷塚古墳・鍋塚古墳（森古墳群）
傍示	(国重文) 木造 阿弥陀如来立像	(有形文化財・彫刻) 石造物群 (文化的景観) 棚田
倉治	(国登録) 交野市立教育文化会館 (府有形) 交野東車塚古墳出土品 (市有形) 木造 阿弥陀如来立像 (市有形) 星田村地詰帳 (市有形) 星田村絵図 (市有形) 磨岩倉開元寺関係石仏群 (市有形) 倉治古墳群出土品一括 (市有形) 磨岩倉開元寺出土懸仏 (市有形) 梵文光明真言刻銘瓦質土器	(有形文化財) 二平川の洗場 (有形文化財・絵画) 十六善神像 (有形文化財・考古) 長宝寺跡出土品、森1号墳出土品 (有形文化財・彫刻) 聖観音磨崖梵字碑（観音岩） (無形の民俗文化財) 機物神社七夕祭 (文化的景観) 交野山の来光、源氏滝の清涼
私市	(国宝) 木造 薬師如来坐像 (国登録) 天野川砂防堰堤 (国登録) 尺治川砂防堰堤 (国登録) 尺治川床固工 (府重美) 石造 地藏菩薩立像 (府名勝) 磐船峡 (市有形) 木造 聖観音立像 (市有形) 木造 如意輪観音坐像	(有形文化財・彫刻) 四社明神 (無形文化財) 吉向松月窯 (無形の民俗文化財) 私市おどり、石清水祭への参列 (記念物・名勝地) 獅子石屋、天の磐船 (文化的景観) 尺治の翠影、獅子窟の青嵐、天の樟船溪谷の朝霧
私部	(国重文) 北田家住宅 (国登録) 山野家住宅 (市史跡) 私部城跡	(有形文化財) 住吉神社大鳥居 (無形文化財) 酒造り (無形の民俗文化財) 陸渡御（住吉神社）
星田	(市有形) 木造 薬師如来立像 (市有形) 木造 千体仏 (市有形) 木造 十一面観音立像 (市有形) 神祖宮趾之碑	(有形文化財・彫刻) 慈光寺十三仏、新宮山宝篋印塔 (記念物・名勝地) 織女石（妙見宮） (文化的景観) 妙見の観桜、星の森の寒月、東高野街道
各地区		(無形の民俗文化財) 河内木綿、菜の花寿司などの郷土料理 (有形の民俗文化財) だんじり【寺・森・私部・私市・星田】 (文化的景観) 江戸時代の面影を残す旧8か村、天野川

【美術工芸品（歴史資料）】 歴史資料としては市指定文化財が2件あります。「神祖宮趾之碑」は、江戸時代の星田村に領地を有した市橋家によって建立されたもので、交野市の星田地区と徳川家康の縁を伝える貴重な文化財です。

「紙本著色 石清水八幡宮放生会絵巻」は、交野の森地区の火長神人や、私市地区の御前払神人が参列してきた近世の放生会を描いたもので、森地区で保管されてきました。未指定の歴史資料は確認できていません。江戸時代の星田村と森村に関する歴史資料が残るのみとなっています。

②無形文化財

指定等文化財はありません。代表的な未指定文化財とし



紙本著色石清水八幡宮放生会絵巻

ては「吉向松月窯^{きっこうしょうげつがま}」があります。京都の楽焼に学んだ初代吉向が文化元(1804)年に開いた吉向窯から分かれた一派で、軟質施釉陶器など色彩豊かな作品を製作しています。

また、文政9(1826)年に創業した森地区の大門酒造と、慶応4(1868)年に創業し、明治初期に私部地区へ移転した山野酒造の2つの地酒造りが現在まで続いています。江戸時代の伝統工芸と伝統産業が続くことが特色です。



山野酒造（私部地区）

③民俗文化財

【有形の民俗文化財】 指定等文化財はありません。市内各地区で「だんじり」が7基残っているほか、雨乞い儀礼で用いた「賓頭盧尊^{びんずるそん}」が獅子窟寺において保存されており、江戸時代以降の祭礼に関わる文化財が継承されています。

このほかに、農業・養蚕・漁撈・河内木綿などの生業や、生活にまつわる民具を、市が収集し、教育文化会館で保管しています。農工用具 346 点、紡織用具 188 点、養蚕用具 45 点、漁撈用具 13 点、合計 592 点を報告しています。また、機物神社では機織り機が保存されています。農村の文化の中で継承されてきた祭礼の道具や、農業や河内木綿などの生業に関わる文化財が多く保存されています。

【無形の民俗文化財】 指定等文化財はありません。倉治の機物神社の七夕祭をはじめとして、市内には祭等の伝統行事が残ります。私部住吉神社の秋祭で行われる「陸渡御^{おかとぎよ}」は、江戸時代以来の伝統を引く盛大なものとして知られています。主に寺社で執り行われる祭等の行事が江戸時代以降定着しています。江戸時代の交野市域の盆行事においては「交野節」と呼ばれる音頭が盛んであったようで、戦後に大流行した「河内音頭」の源流と言われてます。現在は、私市地区において「交野節」の流れを汲む「私市おどり」が保存されています。



私市おどり（私市地区）

また、近世以来の「河内木綿」は、明治時代の輸入綿の流行により途絶えていましたが、市域に残る木綿製品や機織り道具をもとに復元活動が続けられています。このほかに、「菜の花寿司」などの郷土料理などがあります。寺社を中心に、地域の人々によって維持されてきた七夕などの祭礼に関わる無形の民俗文化財が多く残っています。

④記念物

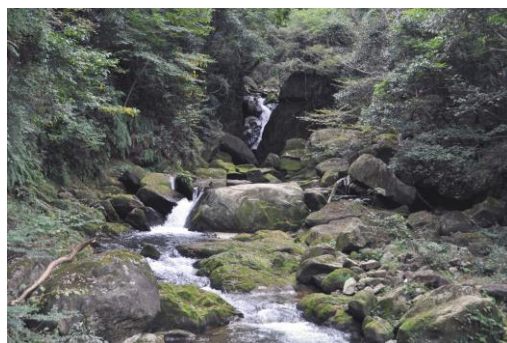
【遺跡及び埋蔵文化財】 府指定史跡の「交野東車塚古墳」は、古墳時代の王の存在を伝える推定墳長 65m の前方後方墳です。市指定史跡の「私部城跡」は戦国時代の平地城郭跡で、曲輪・堀等、連郭式の城郭の一部が残ります。

未指定の遺跡は、市域の平野部から山麓まで多数分布しています。本市では遺跡全般が、土地に埋蔵された状態の文化財、埋蔵文化財に該当しています。代表的なものとしては、古墳時代前期の古墳である「鍋塚古墳」・「雷塚古墳」（森古墳群）のほか、古墳時代中期の北河内地域で最大級の前方後円墳である「大畑古墳」（交野車塚古墳群）や、古墳時代後期の横穴式石室と墳丘を良好に残す「塚穴古墳」（寺

古墳群第3号古墳)などがあります。また、これらの古墳群の眼下には、古墳時代の鍛冶生産遺跡である森遺跡、上私部遺跡をはじめとした集落・生産遺跡が分布しています。山地においては、「岩倉開元寺跡」、「小松寺跡」などの寺院遺跡も点在します。私部城跡の周辺では、堀跡が検出された「私部南遺跡」、砦などの遺構とみられる「でがしろ遺跡」など、戦国期の遺跡も多く確認されています。

特に、古墳時代を通して連綿と古墳及び集落・生産遺跡が認められることが特徴的です。また、中世においては山岳寺院遺跡と平地城郭が残ることが大きな特徴といえます。

【名勝地】 大阪府指定名勝「磐船峡」があり、天野川が山間部を流れる中で深い峡谷が刻まれ、そこに生じた「鮎返し」の滝や磐船神社周辺の巨岩などが奇景を生み出しました。未指定文化財では、「交野山」などの山々や、花崗岩の「巨岩」、「源氏の滝」、「月の輪の滝」などがあります。自然豊かな山間部を中心に良好な景勝地が維持されており、交野市独特の景色をかもし出しています。



府指定名勝 磐船峡（私市地区）

【植物、動物、地質鉱物】 指定等文化財はありません。植物としては交野市自然環境保全条例により指定された樹木・樹林が16件あります。特に、星田妙見宮（小松神社）の所在する山地にシイ等の樹林が良好に保存されています。このほかに市の木である「さくら」と市の花である「つつじ」があります。市域には、カタノザクラとも呼ばれる「山桜（又は霞桜）」や、ミツバツツジ・モチツツジが自生しています。

動物としては、山地を中心に野鳥が生息しており、市の鳥となっている雉などがいます。

市街化が進む中でも、山地や寺社境内に豊かな自然が維持されています。

⑤文化的景観

指定等文化財はありません。未指定文化財で主なものとしては、交野市の豊かな自然と長い歴史の中から生まれた景観であり市民投票により選ばれた交野八景があります（20ページ）。このほかに、山間部の傍示地区に少なくとも江戸時代にさかのぼる棚田が維持されています。豊かな自然の中で人々の営みによって形づくられた景観が特色となっています。



棚田（傍示地区）

⑥伝統的建造物群

指定等文化財はありません。未指定文化財としては、星田、傍示、寺、森、郡津、倉治、私市、私部の一部に、古くからの街道沿いに集中して歴史的建造物の町並みが保持されています。江戸時代以来の伝統的集落の佇まいを継承しています。



伝統的な町並み（私部地区）

⑦文化財の保存技術

国選定保存技術は該当がありません。未指定のものについては未調査ですが、石工技術などの候補があります。

（３）「周辺環境」の概要

「交野の文化財」の保存・活用するためには、「交野の文化財」を単体として点的にとらえるだけでなく、周辺部を含めて面的に把握した上で「周辺環境」とあわせて保護することが必要になります。

「周辺環境」として、まず文化財周辺の「自然・歴史的環境」の保全があげられます。「自然・歴史的環境」は、旧村の歴史的景観維持のため、それらを取りまく環境保護に市と各地区が協力して取り組んでいます。市域の半分を山地が占める本市では、市制施行以後、自然環境の整備にも力をいれてきました。

次に「文化財を支える人々の活動」も保護の対象と考えます。「文化財を支える人々の活動」では星田・私市・私部地区で地区による独自の保護組織が立ち上げられており、「交野の文化財」の継承に欠かせないものになっています。

そして、「交野の文化財」と関連がありながら、文化財として取り扱いがなされていない「伝承・伝説・昔話・神話」や「ゆかりの人」などの記録についても、「周辺環境」として位置づけます。文化財に関する「伝承・伝説・昔話・神話」や「ゆかりの人」は、郡津地区が多く、寺地区が少ない状況です。

表：主要な地区別周辺環境

地区名	自然・歴史的環境	文化財を支える人々の活動	伝承・伝説・昔話・神話	ゆかりの人
寺	交野車塚古墳群周辺の環境 寺古墳群周辺の環境			山添平精
郡津	東高野街道周辺の環境		長宝寺を描いた絵画 惟喬親王伝承 交野少将物語 弘法大師伝説(茶屋の清水) 明遍上人伝説	在原業平 惟喬親王 弘法大師 明遍
森	森古墳群周辺の環境		森宮内少輔伝説	守部平麻呂・広道
傍示	八葉蓮華寺周辺の環境		伊丹一族伝説	快慶 伊丹富太郎
倉治	観音岩周辺の環境 機物神社周辺の環境		七夕伝承 源氏の滝伝説	金澤泰治
私市	一条通周辺の環境 私市植物園周辺の環境	私市文化財保護推進委員会	肩野物部氏伝承 饒速日命伝承 賓頭盧尊伝承 弘法大師伝説	亀山上皇 貝原益軒 西村忠逸 デ・レーケ
私部	私部城周辺の環境 青年の家周辺の環境 逢合橋周辺の環境	私部だんじり保存会	法明上人伝説 安見右近伝説	安見右近 北田騰造 原田元治郎
星田	東高野街道周辺の環境 星田妙見宮周辺の環境	星田だんじり保存会 薬師寺保存会	弘法大師伝説(八丁三所) 平井正道伝説 徳川家康伝説	弘法大師 吉田屋藤七 大田垣蓮月 大井川万吉 埜辺丑治郎

2-2.「交野の歴史文化」の把握の取組み

(1) 大阪府による把握調査

大阪府教育委員会では昭和 45(1970)年の『大阪府文化財総合分布図』を作成した後、府域全体を対象とした調査を文化財種別ごとに実施しています。本市に関連した報告書は以下のとおりです。

表：大阪府教育委員会が刊行した悉皆調査報告書の概要（文化財種別ごと）

○『大阪府の近世社寺建築』近世社寺建築緊急調査報告書 昭和 62 年 3 月発行
収録社寺：「住吉神社本殿（私部）」、「光林寺本殿・表門（星田）」、「光明院本堂（倉治）」
○『高野街道』歴史の道調査報告 第 2 集 昭和 63 年 3 月発行
収録道標等：「松塚（2 基）」、「私部西（3 基）」、「星田（1 基）」・収録石造物：「星田（5 碑）」・収録伊勢灯籠：「郡津（1 基）」、「星田（1 基）」
○『大阪府の民謡』民謡緊急調査報告書 平成元年 3 月初版、平成 20 年 3 月再版
収録民謡：「倉治（4 曲）」、「私市（2 曲）」、「寺（4 曲）」、「星田（2 曲）」、「私部（10 曲）」、「郡津（1 曲）」、「森（1 曲）」、「私部・郡津（1 曲）」、「交野市（2 曲）」
○『奈良街道』歴史の道調査報告 第 4 集 平成元年 3 月発行
収録道標等：「傍示越道（5 基）」、「岩舟越（割石越）道（3 基）」・収録伊勢灯籠：「傍示越道（10 基）」、「岩舟越（割石越）道（2 基）」・収録石造物：「傍示越道（3 碑）」、「岩舟越（割石越）道（6 社寺）」・収録指定文化財：「傍示越道（1）」、「岩舟越（割石越）道（3）」
○『大阪府の近代和風建築』大阪府近代和風建築総合調査報告書 平成 12 年 3 月発行
個別調査対象：農家型住宅「山野家住宅（私部）」、「星野家住宅（神宮寺）」
○『大阪府近代化遺産』大阪府近代化遺産（建築物等）総合調査報告書 平成 19 年 3 月発行
調査対象：砂防「尺治川砂防堰堤（私市）」、「天野川砂防堰堤（私市）」、「尺治川床固工（私市）」・金融「交野市立教育文化会館（倉治）」
○『大阪府の御供物行事』伝統文化総合支援研究委嘱事業実施報告書 平成 20 年 3 月発行
調査行事：「節分（市内各家）」、「お精霊さま（市内各家）」、「お大師さん（星田町内の十二の大師堂）」、「お精霊さま（星田地区各家）」
○『大阪府の宮座』大阪府伝統文化総合支援研究委嘱事業実施報告書 平成 21 年 3 月発行
調査神社：「郡津神社（郡津）」、「住吉神社（私部）」、「星田神社（星田）」、「機物神社（倉治）」
○『大阪府の民俗芸能』大阪府民俗芸能緊急調査報告書 平成 21 年 3 月発行
調査資料：「交野市史民俗編（交野市史編纂委員会交野市／1981）」、「交野 自然と文化の和むまち（交野市総務部広聴広報課／1986）」、「かたの（文化財を中心とした）（交野市教育委員会社会教育課／1976）」
○『平成四・五年度 有形文化財・無形文化財等 総合調査報告書』 平成 6 年 3 月発行
調査対象：市内の有形文化財・無形文化財

(2) 交野市による調査

交野市教育委員会では平成 3 (1991)年に「交野市文化財分布地図」を作成しました。その後、把握調査や詳細調査を実施しています。これまで実施した文化財に関する調査は次のとおりです。

①建造物

本計画の作成にあたり、市内の旧集落に残る古民家・土蔵、それらを取りまく景観の悉皆調査を行いました。調査の概要は令和 3 (2021)年 3 月発行の『市民文化財フォーラム』資料に掲載しています。

市内で最も古民家・土蔵が多く残る地区は私部です。また農家の家屋が残る傍示地区は、田園風景も

よく残されています。私市地区では煙出しのある古民家が多く残っています。星田地区では旧集落内に石造仏や辻堂などが、多く残されています。倉治地区は集落内を流れる水路に「洗い場」が2か所残されているなど、水環境の豊かさが窺えます。

建造物について、交野市独自で行った個別調査はありませんが、「北田家住宅」、「山添家住宅」の国重要文化財指定時には、建造物についての詳細調査をしています。

②美術工芸品

『交野町史』の編纂時に、市内の寺院を中心とした彫刻・古文書等の美術工芸品を調査しました。その後は交野市史編纂事業の一環として、平成2(1990)年から所蔵者別に詳細調査を実施し、『交野市史研究紀要』として27輯まで刊行しています。詳細調査としてはこの他に、『石清水八幡宮放生会調査報告書』で、市指定文化財の絵巻とともに森・私市地区で継承されている神人関係の資料を報告しました。

表：交野市が刊行した詳細調査報告書（古文書・彫刻等の美術工芸品）

書名	副書名	発行年月
五畿内並近江大工杣木挽御朱印旧記録	交野市史研究紀要第1号	1990年3月
鎌田水論一件日記	交野市史研究紀要第2号	1991年3月
中野家文書	交野市史研究紀要第3号	1993年9月
光通寺	交野市史研究紀要第4号	1995年3月
星田寺	交野市史研究紀要第5号	1996年3月
善通寺	交野市史研究紀要第6輯	1997年2月
廃千手寺・廃蓮華寺	交野市史研究紀要第7輯	1997年3月
須弥寺	交野市史研究紀要第8輯	1997年12月
薬師寺	交野市史研究紀要第9輯	1998年3月
加地家文書	交野市史研究紀要第10輯	1999年3月
河内国交野郡星田村地詰帳	交野市史研究紀要第11輯	2000年3月
光林寺	交野市史研究紀要第12輯	2001年3月
星田村庄屋文書	交野市史研究紀要第13輯	2001年3月
明遍寺	交野市史研究紀要第14輯	2002年3月
想善寺	交野市史研究紀要第15輯	2003年3月
正行寺	交野市史研究紀要第16輯	2004年3月
光明院	交野市史研究紀要第17輯	2005年3月
善林寺	交野市史研究紀要第18輯	2006年3月
松宝寺	交野市史研究紀要第19輯	2007年3月
森村庄屋文書	交野市史研究紀要第20輯	2007年3月
廃小松寺	交野市史研究紀要第21輯	2008年3月
私市村役人文書	交野市史研究紀要第22輯	2009年3月
無量光寺	交野市史研究紀要第23輯	2010年3月
石清水八幡宮放生会調査報告書		2010年12月
慈光寺	交野市史研究紀要第24輯	2011年3月
金澤家文書目録	交野市史研究紀要第25輯	2014年3月
河内国交野郡倉治村文書	交野市史研究紀要第26輯	2018年3月
河内国交野郡森村庄屋文書・無量光寺文書	交野市史研究紀要第27輯	2022年3月

また、市内に多く分布する石仏や石塔、石灯籠などについては、地域の人々の身近に存在し、古くから親しまれてきました。このため、地元の関心も高く、交野考古学会や交野古文化同好会など市内の個人・団体によって石造文化財として調査が重ねられてきました。

本市ではこうした先行研究も踏まえつつ平成 16(2004)年度から平成 17(2005)年度にかけて市全域の石造文化財の悉皆調査を実施しました。この内容については、平成 17(2005)年に私市・私部・神宮寺・倉治地区の調査の成果をまとめた『石造文化財Ⅰ』、平成 18(2006)年に郡津・森・寺・傍示・星田地区の調査の成果をまとめた『石造文化財Ⅱ』を刊行しています。悉皆調査を行い、特に重要なものについては、詳細調査を行いました。これらの調査によって、京都など周辺地域の影響を受けながら交野独自の石造文化財が作られたことが明らかにされています。



磨崖三尊像（石仏の道）

③埋蔵文化財

本市における埋蔵文化財の発掘調査は、昭和 29(1954)年に交野考古学会によって、倉治遺跡（宮田池北側）を手始めに、岩倉開元寺跡・倉治古墳群・神宮寺遺跡・坊領遺跡・清水谷古墳・私部城跡・私市滝が広遺跡の調査が行われました。その成果は、『石鏃』^{せきぞく}という雑誌で紹介されています。

昭和 40(1965)年に文化庁文化財保護委員会が『全国遺跡地図大阪府』を発行し、遺跡分布状況悉皆調査を行っています。その後、大阪府教育委員会に遺跡地図は引き継がれ、交野市の埋蔵文化財行政もそれに準拠しています。

交野市が調査した埋蔵文化財の出土品について、ふるさと雇用再生特別交付金を活用し、平成 22(2010)・23(2011)年度に悉皆調査を実施し、展示用とそれ以外に分類するなど整理を行っています。また、本計画作成にあたっても悉皆調査を実施しています。発掘調査報告書は次のとおりです。本市では、昭和 47(1972)年度から神宮寺遺跡や、郡津郡衙遺跡（現・交野郡衙跡及び長宝寺跡）の範囲確認調査が行われ、概要が報告されましたが、遺跡の詳細な内容の確認には至っていません。

昭和 63(1988)年度以降、市内における開発に先立つ埋蔵文化財の試掘・確認調査及び本発掘調査を大阪府及び交野市において実施しています。発掘調査が実施された際には、随時報告を行っています。特に、森遺跡の鉄器生産の理解を深めるため製鉄・鍛冶実験を行い報告書にまとめたほか、原料の供給地と考えられる岡山県北部の製鉄遺跡を地元の協力を得て分布調査を実施しています。

森・寺地区の古墳の調査は、昭和 48(1973)年に交野車塚古墳群の発掘調査、昭和 56(1981)・57(1982)年に森古墳群の分布調査、そして、昭和 63(1988)年に再び交野東車塚古墳の発掘調査、平成 2(1990)年に塚穴古墳（寺古墳群）の測量調査、平成 8(1996)年に鍋塚古墳の発掘調査が実施されています。

古代の遺跡については須弥寺遺跡、中世の遺跡については新宮山遺跡、私部城跡、有池遺跡の報告書を刊行しました。このほか、(公財)大阪府文化財センターにより第二京阪道路建設や星田北・星田駅北土地区画整理などの大規模開発に伴う発掘調査が実施され、報告されています。



交野東車塚古墳の発掘調査

表：交野市が刊行した詳細調査報告書（埋蔵文化財）

書 名	副書名	発行年月
神宮寺遺跡範囲確認調査概要	交野市文化財調査概要 1973-1	1973 年 3 月
郡津郡衙遺跡範囲確認・調査概要	交野市文化財調査概要 1975-2	1976 年 3 月
郡津郡衙遺跡範囲確認・調査概要	交野市文化財調査概要 1977-3	1977 年 12 月
郡津郡衙遺跡範囲確認・調査概要	交野市文化財調査概要 1978-2	1978 年 12 月
森古墳群発掘調査概要	交野市文化財調査概要 1983-3	1983 年 3 月
清水谷古墳調査概要		1987 年 3 月
森遺跡Ⅰ		1989 年 3 月
森遺跡Ⅱ		1990 年 3 月
森遺跡Ⅲ		1991 年 3 月
森遺跡Ⅳ	交野市埋蔵文化財調査報告 1991	1992 年 3 月
新宮山遺跡	交野市埋蔵文化財調査報告 1992-Ⅱ	1993 年 3 月
森遺跡 1992-6 次、交野郡衙跡 1993-1 次調査報告	交野市埋蔵文化財調査報告 1993-Ⅱ	1994 年 3 月
私部城跡-発掘調査概要報告書Ⅰ-	交野市埋蔵文化財調査報告 1994-Ⅰ	1995 年 3 月
森遺跡Ⅴ	交野市埋蔵文化財調査報告 1996-Ⅱ	1997 年 3 月
森遺跡Ⅵ	交野市埋蔵文化財調査報告 1996-Ⅲ	1997 年 3 月
古代交野と鉄Ⅰ	交野市埋蔵文化財調査報告 1998-Ⅰ	1999 年 3 月
交野車塚古墳群 交野東車塚古墳群〔調査編〕	交野市埋蔵文化財調査報告 1999-Ⅰ	2000 年 3 月
古代交野と鉄Ⅱ	交野市埋蔵文化財調査報告 1999-Ⅱ	2000 年 3 月
森遺跡Ⅶ	交野市埋蔵文化財調査報告 2000-Ⅰ	2001 年 3 月
森遺跡Ⅷ	交野市埋蔵文化財調査報告 2000-Ⅱ	2001 年 3 月
森遺跡Ⅸ	交野市埋蔵文化財調査報告 2001-Ⅱ	2002 年 3 月
古墳時代の鉄製錬・鍛冶再現実験記録	交野市埋蔵文化財調査報告 2001-Ⅲ	2002 年 3 月
鍋塚古墳 2000-1 次調査、有池遺跡 2002-1 次調査	交野市埋蔵文化財調査報告 2002-Ⅱ	2003 年 3 月
森遺跡Ⅹ	交野市埋蔵文化財調査報告 2002-Ⅲ	2003 年 3 月
須弥寺遺跡	交野市埋蔵文化財調査報告 2003-Ⅱ	2004 年 3 月
交野市の埴輪	交野市の文化財Ⅰ	2007 年 3 月
交野市の瓦	交野市の文化財Ⅱ	2010 年 3 月
私部城跡発掘調査報告	交野市埋蔵文化財調査報告 2014-Ⅰ	2015 年 3 月
森遺跡Ⅺ	交野市埋蔵文化財調査報告 2016-Ⅱ	2017 年 3 月
坊領遺跡	交野市埋蔵文化財調査報告 2017-Ⅰ	2017 年 10 月
森遺跡Ⅻ	交野市埋蔵文化財調査報告 2017-Ⅱ	2018 年 3 月
有池遺跡	交野市埋蔵文化財調査報告 2019-Ⅱ	2020 年 3 月
平池遺跡・堀之内遺跡	交野市埋蔵文化財調査報告 2020-Ⅰ	2020 年 6 月
星田駅北遺跡・平池遺跡・四馬塚遺跡・東高野街道	交野市埋蔵文化財調査報告 2020-Ⅱ	2020 年 6 月
交野市の金属製品	交野市の文化財Ⅲ	2021 年 3 月
昭和 62 年度～令和 3 年度交野市埋蔵文化財発掘調査概要	交野市埋蔵文化財調査報告	1988 年 3 月～ 2022 年 3 月

④民俗文化財

『交野町史』・『交野市史』民俗編の編纂に伴い、市内の無形の民俗文化財の悉皆調査が実施された後、ふるさと雇用再生特別交付金を活用し、平成 22(2010)・23(2011)年度に交野市が所蔵する有形の民俗文化財の把握調査を実施しています。また、本計画の作成にあたっては把握調査を実施しています。

詳細調査については、平成 17(2005)年から市で所蔵する民具に関する調査を行い、『交野市民具資料収蔵目録』を刊行しています。さらに第 1 集では交野に伝わる「河内木綿」の製作に用いられた紡織用具、

第2集では農耕用具、第3集では養蚕・漁撈用具を報告しました。また、広報誌における2か年にわたる連載記事をまとめた『ちょっと昔の民具たち』で紹介しています。「河内木綿」に関しては、一度途絶えた技術・伝統の復元に取組む「機織り教室」の活動記録を紹介しています。

⑤地域史

本市では、これまで全時代の市内の歴史をまとめた図書として8冊を刊行してきました。刊行にあたっては歴史各分野の専門委員等の協力を得て悉皆的な調査を行っています。

最も古いものが昭和38(1963)年に刊行された『交野町史』です。さらに昭和45(1970)・46(1971)年には、これを2冊の『交野町史改訂増補1・2』として刊行され、第一部は地質時代までさかのぼった交野地方の歴史が説明されており、第二部では各論として19の部門について説明しています。

また、改訂増補以降の新しい知見が出てきたことで、全体として大きな見直しが必要となり、市制10周年を契機として『交野市史』5巻を昭和56(1981)年から平成4(1992)年まで刊行しました。

なお、現在も市史研究紀要の刊行を続けており、その成果をとりまとめた「社寺・仏閣編」を今後刊行する予定です。

「考古編」についても、刊行後に市域を横断する第二京阪道路建設に伴う大規模な発掘調査や周辺開発に伴う調査も増加し、新たな調査成果が蓄積されています。

表：交野市の地域史に関する刊行物

書名	著者名	発行者	発行年
交野町史	片山長三	交野町	1963 年
交野町史 改訂増補 1	片山長三	交野町	1970 年
交野町史 改訂増補 2	片山長三	交野町	1971 年
交野市史 復刻編 (交野町史 1963 等を復刻)	交野市史編纂委員会	交野市	1981 年
交野市史 民俗編	交野市史編纂委員会	交野市	1981 年
交野市史 自然編 1	交野市史編纂室	交野市	1986 年
交野市史 自然編 2	交野市史編纂室	交野市	1986 年
交野市史 考古編	交野市教育委員会	交野市	1992 年

交野の郷土史は、交野町史の執筆者の片山長三氏とその弟子の奥野平次氏、片山氏の実弟の西井長和氏など郷土史家が主導していました。

また、『交野郷土史かるた』は、世代を問わず、交野の郷土史を楽しみながら学べるツールとして、かるた大会や史跡・名所巡り・小学校の授業などに広く活用されてきました。初版から30年後の平成20(2008)年に復刻版も発行されています。



『交野郷土史かるた』

表：交野市の地域史

書名	著者名	出版社	発行年
北河内史蹟史話	平尾兵吾		昭和48年
無量光寺	片山長三		昭和48年
交野郷土史かるた	交野古文化同好会	交野古文化同好会	昭和53年
星田懐古誌 上巻	西井長和	交野詩話会	昭和54年
星田懐古誌 下巻	西井長和	交野詩話会	昭和55年
星田写真史話	西井長和	交野が原発行所	昭和56年
ふるさと交野を歩く（山の巻・里の巻・神の巻）、ひろい話1～3	奥野平次	交野市教育委員会	昭和56～平成5年
星田と徳川家康公	西井長和	星田郷土史研究所	昭和59年
徳川家康 伊賀越逃走記	西井長和		昭和60年
交野の里のものがたり 第1集	櫻井敬夫ほか	大門酒造	平成4年
星田歴史風土記	和久田薫ほか	交野市教育委員会	平成7年
ほいさ 交野・星田郷土史かるた	金堀則夫		平成19年

⑥把握状況

これまでの「交野の歴史文化」の把握状況は以下のとおりです。文化財の種類によって把握状況に差が生じています。

表：「交野市の歴史文化」の把握状況（令和4年9月現在）

種類			先史	古代	中世	近世	近代	長期
有形文化財	建造物		—	—	—	◎	◎	—
	美術工芸品	絵画	—	—	◎	◎	△	—
		彫刻	—	◎	◎	◎	△	—
		工芸品	—	—	—	○	○	—
		書跡・典籍	—	—	◎	◎	△	—
		古文書	—	—	○	○	○	—
		考古資料	◎	◎	○	○	—	—
		歴史資料	—	—	—	○	○	—
無形文化財		—	—	—	○	○	○	
民俗文化財	有形	—	—	—	○	○	—	
	無形	—	—	—	◎	◎	◎	
記念物	遺跡（埋蔵文化財）		◎	◎	◎	◎	—	—
	名勝（名勝地）		—	—	◎	◎	◎	—
	動物、植物、地質鉱物		—	—	—	○	○	—
文化的景観			—	—	—	○	○	—
伝統的建造物群			—	—	—	◎	◎	—
周辺環境（自然・歴史的環境、文化財を支える人々の活動、伝承等、ゆかりの人）			△	○	○	○	○	—

◎…概ね調査が完了、○…調査中、△…確認されているが未調査、—…調査対象なし

2-3. 「交野の歴史文化」の保存の取組み

(1) 指定等文化財の保存

本市では、文化財保護法と府文化財保護条例、市文化財保護条例に基づいた文化財の指定による保存を進めています。

指定等文化財は、所有者の変更や修理の際などの届出等が義務付けられ、修理等に要する経費の補助を国・府・市から受けて、保存に活かされています。

修理・保存処理は、文化財の毀損の状況を所有者・市で確認し、協議を行い、大阪府などの指導のもと実施しています。

文化財指定の後に、将来へ保存するために抜本的な修理・保存処理が行われます。

近年になって経年劣化や、台風・地震等の自然災害により毀損する事例が続いており、こうした危機から文化財を保護するため、所有者と連携した取組みが行われています。

また、地区によっては独自に地元の文化財を保護する団体もありますが、高齢化が進み活動が低下しています。

現在のところ、指定等文化財では、個別の保存活用計画は作成されていませんが、交野市立教育文化会館（旧交野無尽金融株式会社本社屋）については、平成 21(2009)年に「国登録有形文化財保存修理計画案策定報告書」を策定し、今後の活用を念頭に置いた修理方針を定めています。令和 4(2022)年の『第二次交野市耐震改修促進計画中間検証』によって耐震性が保持されていることが示されているものの、すでに建築から 1 世紀が経とうとする建造物であるため、老朽化が進んでいます。

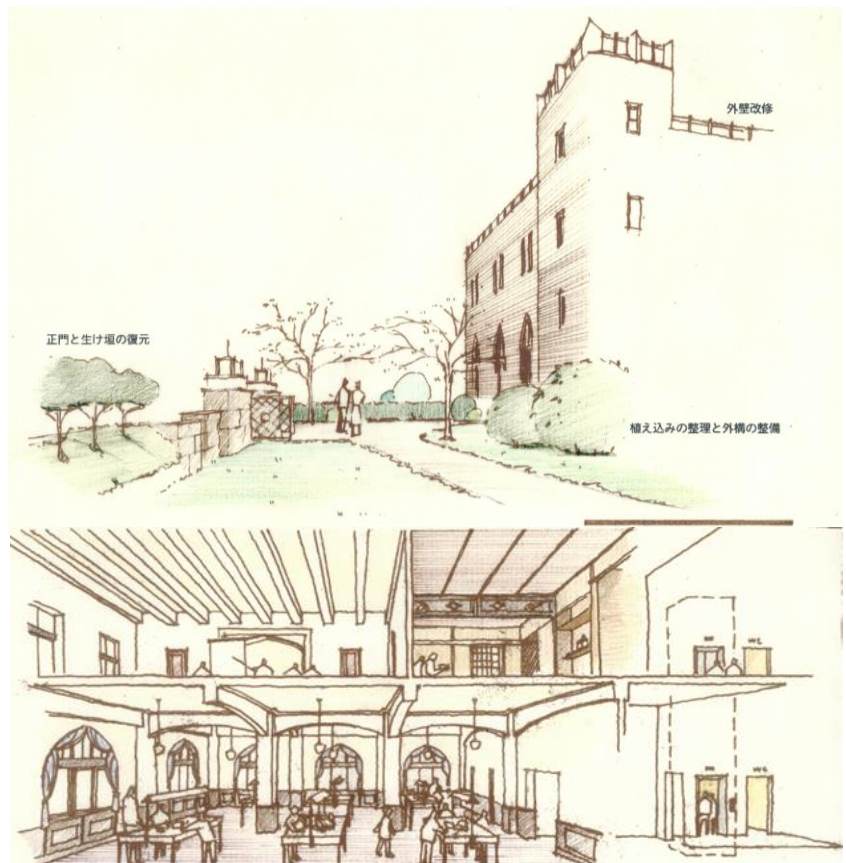
これまでに市内で実施した指定等文化財の保存修理事業は以下のとおりです。



台風による毀損（山添家住宅）



火災報知器の補修（北田家住宅）



復元を基調とした修復のイメージ
（交野市立教育文化会館）

表：指定等文化財の保存修理事業

種別	事業名	修理内容	所有者	年度
国指定	山添家住宅修理工事（昭和48年報告書有）	解体修理	個人	昭和46～47年度
国指定	北田家住宅修理工事（昭和63年報告書有）	解体修理	個人	昭和59～63年度
国登録	交野市立教育文化会館外壁修繕	外壁修繕	市	平成23年度
国指定	北田家住宅小修理工事	長屋門小修理	個人	平成29年度
国指定	北田家住宅小修理工事	土塀小修理	個人	平成30年度
国指定	北田家住宅保存修理工事（災害復旧）	保存修理	個人	平成30～31年度
国指定	山添家住宅小修理工事	屋根小修理	個人	平成31年度
国指定	北田家住宅小修理工事	防災設備小修理	個人	平成31年度
国登録	交野市立教育文化会館屋上防水改修工事	防水改修工事	市	令和3年度
府指定	交野東車塚古墳出土品	保存処理	市	平成6年度 令和3・4年度
市指定	星田寺木造十一面観音立像	修理	個人	平成2年度
市指定	廃岩倉開元寺出土懸仏	保存処理	市	平成19年度
市指定	神祖宮趾之碑	保存処理	個人	平成22年度

（２）未指定文化財の保存

未指定文化財については、基本的に所有者による保存が進められています。市は所有者や管理者に保存修理について助言などの指導を行い、所管のものは直接保存・修理を実施しています。

市内に点在する石灯籠や石仏などの多くが、長年、地区や個人によって保存されてきました。しかし、近年の高齢化の中で、未指定文化財の保存の担い手は減少しつつあります。

また、近年の自然災害の影響により、毀損する事例が増加しています。

（３）防災・防犯対策

指定等文化財の防災対策としては、国重要文化財「北田家住宅」や「山添家住宅」では、消防設備点検や消防署と連携した建造物への立ち入り調査を定期的の実施しています。また必要に応じて、未指定文化財も含めて文化財保護委員による定期巡視も実施されています。文化財所有者の高齢化や一部地区での人口減少により、防災・防犯対策がとりづらくなっています。

防犯対策として、指定等文化財の一部に防犯カメラを設置しています。

表：防災に関する対策状況

内 容	実施状況
消防設備点検	北田家住宅（重文）・山添家住宅（重文）で毎年実施。 獅子窟寺（国宝 薬師如来像収蔵）、八葉蓮華寺（重文 阿弥陀如来像収蔵）で随時実施。交野市立教育文化会館（国登録）で毎年実施。
建造物への立ち入り検査	消防署と連携して、北田家住宅（重文）・山添家住宅（重文）・獅子窟寺収蔵庫（国宝）・八葉蓮華寺収蔵庫（重文）の電気設備の点検を中心に各年一回程度で実施。
定期巡視	文化財保護委員によりパトロール。
ハザードマップの確認	指定文化財のうち、ハザードマップと重なるものは「磐船峡」のみ。

2-4. 「交野の歴史文化」の活用の現状

(1) 指定等文化財の公開

指定等文化財については、市・所有者によって公開が行われています。

国宝「薬師如来坐像」(獅子窟寺)は、年始に一般公開されています。このほかに、所有者が見学希望を受け付け、随時公開を行っています。

国重要文化財「北田家住宅」(私部)や「阿弥陀如来立像」(傍示・八葉蓮華寺)、そして市指定文化財「聖観音立像」(私市・廃千手寺)などは、年に1～2回程度一般公開を行っています。

国登録文化財「交野市立教育文化会館」は、歴史民俗資料展示室として常設展の他に企画展や特別展が開催され、誰でも気軽に見学できる展示施設として活用されています。ここでは、大阪府指定文化財「交野東車塚古墳出土品」等も展示されています。

個人所有の指定等文化財については、活用の環境が整えられていないものが多くあります。国登録文化財で、現在も酒造会社として営業している「山野家住宅」では、酒蔵は不定期で見学対象として公開されていますが、居住空間である主屋は通常は公開されていません。国重要文化財「山添家住宅」では、主屋を見学するには現在の居住空間を通る必要があり、プライバシーの確保が難しいため近年では公開中止を余儀なくされています。大阪府史跡「交野東車塚古墳」や未指定の「塚穴古墳(寺古墳群)」などの遺跡案内は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中断しています。

(2) 教育文化会館の活用

①歴史体験教室

本市では、交野市立教育文化会館を拠点に平成6(1994)年度から定期的に文化財に関する体験講座を実施しています。講座は、夏休みなどに子どもを対象とした体験講座や、地域の古文書を読解する古文書講座などを実施してきました。

また、平成14(2002)年以降は、ボランティアの協力を得ながら、機織り教室や歴史民俗資料展示室見学の説明案内、市内の文化財等をガイドと歩くイベントを実施していました。しかし、文化財専門職員の減少や新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、ボランティアによる説明案内や、一部の講座については中断を余儀なくされています。

表：文化財に関する講座等

分類	実施期間	主な内容
こども体験講座	平成6～平成26年度	土器づくりと古代米試食／勾玉づくり／ひらがなのルーツ／交野の歴史(ガイドブック)／機織り体験／資料館見学／七夕おりがみ講座／草木染めと布ぞうり／昔懐かしい遊び／型紙作りとハンカチ染色／発掘体験／ダンボール機でコースター／身近な草で布を染める／コースターを編む／組紐でストラップ／拓本をとろう
ボランティアと連携した講座・教室	平成21年度 平成20～平成25年度	昔懐かしい遊び 歴史解説ボランティアと歩く

②展示

本市では、歴史民俗資料展示室において平成7(1995)年度から通常の常設展に加えて、定期的に文化財に関する企画展・特別展を開催しています。所蔵資料に加えて、周辺の市などから関連資料を借用し、

考古資料・古文書・民具などのテーマごとに展示会を実施しています。展示にあたっては、解説も行っていましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で現在は中断しています。

なお、一時的に市役所ロビーを利用して交野東車塚古墳の副葬品や埴輪などの展示を行っていましたが、市役所ロビーのレイアウト変更を受けて近年では実施していません。

表：文化財に関する展示等

実施年度	展示内容
平成7年度	星の神々－信仰と伝承－
平成8年度	95/96 発掘速報展
平成9年度	古代交野と鉄
平成10年度	昔の教科書
平成11年度	歴史みちひとすじ
平成12年度	写真で見るちょっと昔のかたの
平成13年度	事業団展示室／教育文化会館
平成14年度	事業団展示室
平成15年度	文化財10年の歩み
平成18年度	山根街道／星田地区／ふるさと交野を歩く－神の巻－
平成19年度	交野市の指定文化財
平成20年度	レトロでモダンな近代建築／交野市の指定文化財展／交野郷土史かるた原画展
平成21年度	発掘！発見！緑立つ道－第二京阪道路建設予定地の発掘成果－／はたおり教室作品展と和わたプロジェクト成果展／交野市の指定文化財展
平成22年度	交野が原の須恵器展／伊勢型紙の世界／交野市の指定文化財展／ちょっとエコな道具たち／交野市の指定文化財展
平成23年度	交野市の指定文化財展／星の伝説と信仰／ちょっとエコな民具たち－紙のリサイクル展－／交野市の瓦／はたおり教室10周年作品展と和わたプロジェクト成果展
平成24年度	私部城跡調査速報展／交野郷土史かるた原画展／ちょっと昔の米作り／私部城跡調査速報展
平成25年度	交野市の指定文化財展／編むと織る／私部城跡調査速報展
平成26年度	倉治の履歴書－金沢家文書から見る歴史－交野市の指定文化財展／石清水八幡宮放生会絵巻を読み解く／機織り教室作品展 ～交野市内から発見された古い木綿布をもとに～
平成27年度	交野市の指定文化財展／発掘調査速報展－交野山石切場跡・岩倉開元寺跡－／昔のくらし－養蚕用具を中心に－
平成28年度	交野市の指定文化財展／交野の戦国時代／交野の鬼瓦／機織教室作品展
平成29年度	市指定文化財展（前期）（後期）／後家が城とその記憶－歴史資料からみる私部城と安見氏－／むかしのあそび／ご近所の遺跡－私部南遺跡－／享保雛
平成30年度	天野川左岸の古代遺跡－坊領遺跡の調査から－／市指定文化財記念「私部城とその周辺」／機織り教室作品展－緋－
平成31年度	市指定文化財展／古文書にみる倉治／安見一族と城／ちょっと昔の交野－明治・大正・昭和のキモノ－
令和2年度	交野と菜種／遺跡からみる交野とその周辺の戦国時代／交野の文化財Ⅰ
令和3年度	交野の文化財Ⅰ（令和2年度から継続）／交野の文化財Ⅱ

③機織り教室

平成 13(2001)年度に行った企画展において、展示された布を織る技術を復元したいとする要望が多かったので、翌年に「機織り教室」を開設しました。教室では市に残る江戸時代の下機を復元し、技術の再現に取組み、依頼があれば小学校への学習支援活動などを行ってきました。

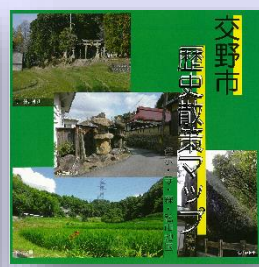
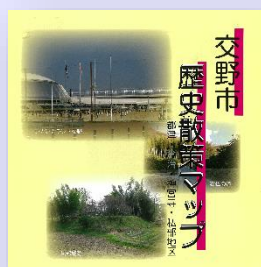
表：交野木綿に関する展示等

年度	展示会・体験講座	生徒数
平成 13 年度	11 月企画展「はたおり」	5人
平成 14 年度	7 月機織り体験	5人
平成 15 年度	11 月作品展「テーブルセンター」	5人
平成 16 年度	7 月夏休み子供歴史体験教室「古代を体験しよう！～はたおりでベルト作り～」	5人
平成 18 年度	3 月企画展「はたおり教室4年間のあゆみ展」 1 階展示 2 階機織り実演	5人
平成 21 年度	4 月「機織り教室作品展&和綿プロジェクト成果展」	7人
平成 23 年度	3 月「はたおり教室 10 周年作品展と和わたプロジェクト成果展」	10 人
平成 25 年度	11 月クリスマスリース作り(星田山手東自治会) 交野木綿塾	10 人
平成 26 年度	3 月「機織り教室作品展」 来館者にはストラップ配布	10 人
平成 28 年度	3 月「機織り教室作品展」 来館者には組紐ストラップ配布	10 人
平成 29 年度	6 月村野高等支援学校へ綿繰りレクチャー 9 月歴史体験講座「古代のベルトを作ろう」	12 人
平成 30 年度	3 月「機織り教室作品展 一 緋ー」 お土産は葉、体験講座「糸づくり講習会」	9人
令和元年度	5 月淀川河川公園管理センター担当者に簡易機のレクチャー(村野高等支援学校) 11 月体験講座「オリジナルコースターを作ろう」	17 人

(3) 観光事業との連携

①交野市歴史散策マップ・交野市観光マップの配布

本市では、市内を3つのエリアに分割した『交野市歴史散策マップ』を発行しています。内容は、各地区の詳細な散策マップや歴史的な見どころ(スポット)の写真と紹介文で構成されており交野市立青年の家や教育文化会館などで配布しています。また、『交野市観光マップ』には、市全域のマップの他に「七夕・星伝説」やハイキングコース、歴史・文化スポットなどが分かりやすく紹介されています。



左：郡津・倉治・神宮寺・私部地区 中：星田地区 右：傍示・寺・森・私市地区



②文化財説明板等の設置

本市が把握している市内の説明板等は、令和4年1月時点で106基あり、管理者は大阪府や交野市だけでなく地区や個人であるものも多くあります。

本市が管理している説明板等は52基あり、新しく設置された私部城跡の説明板にはQRコードの表示があり、現地で詳細な情報を取得することができるようにしています。

表：説明板等の設置状況

	案内板	説明板	表示板	石碑	石柱	総数
府	12	1	1	0	0	15
市	0	18	3	0	31	52
その他	5	19	3	7	6	39
総 数	17	38	7	7	37	106

凡例

案内板：地図付き、説明板：詳細説明あり、表示板：文化財名称のみ

石碑：説明あり、石柱：文化財名称のみ



私部城跡の説明板

③「交野木綿」の活用

機織り教室では展示会を通じて製作した反物の端切れを利用した葉を来館者へ配布して「交野木綿」のPRを行いました。



交野木綿を使った葉

2-5. 「交野の歴史文化」の周知・啓発の取組み

(1) 情報発信

①広報かたの



左：交野戦国絵巻 中：星ノ町レジェンド 右：文化財予備軍



連載をまとめた総集編

『まちの名に歴史あり』は市内の地名の由来や伝説を紹介しています。平成24(2012)年4月～26(2014)年3月まで掲載された記事で、総集編として冊子にまとめられています。

ほかにも「交野戦国絵巻」や「星ノ町レジェンド」、「いつかは指定登録されたい文化財予備軍」などを通して継続的に、交野の歴史や文化財などを紹介しています。

②交野市文化財だより

『交野市文化財だより』は平成6(1994)年度から継続して発行しており、令和3(2021)年度で第33号を数えます。

企画展や市民文化財講座などの内容や発掘調査や文化財の管理・普及活動の報告など文化財に関する1年間の活動報告となっており、歴史民俗資料展示室などで配布しています。

③かたのスイッチ（かたのツーリズム推進協議会）

情報ポータルサイトの「かたのスイッチ」では交野市のスポーツ、イベント、観光情報、交野の魅力ある情報を発信し、「しぜんのスイッチ」では山や川など自然スポットの紹介をしています。



交野市文化財だより

④文化財講座の開催

本市では平成6(1994)年度以降、年1回の市民文化財講座を開催しています。また地域の古文書を読解する「古文書講座」も開催してきましたが、平成22(2010)年度以降、専門職員が不在となったため、実施していません。

表：文化財に関する講座等

分類	実施期間	主な内容
市民文化財講座	平成6年度～（継続中）	交野の社寺一史実と伝承／古墳時代／おりがみの文化史／中世史に見る女性と宗教／文化財を21世紀に伝える／みんなで楽しむ考古学／正倉院文書について／石の考古学／もの作りを通して見る交野の歴史／第二京阪道路の発掘調査でわかったこと／北河内の古墳／近代建築散策と教育文化会館の活用に向けて／徳川家康と知恩院一公家文化の受容を中心に／私部城—その歴史と構造／腰機—の歴史／社寺建築のみどころ／百舌鳥・古市古墳群—大阪発の世界遺産登録を目指して—／私部城跡と北河内の地域構造／信長上洛と私部城／いま、甦る！！私部城／安見一族と城／遺跡から見た戦国時代の交野と枚方／天野川流域の古代社会を探る
古文書講座	平成6～平成22年度	くずし字の基本／大塩平八郎一件／平橋家大工組文書／大塩平八郎一件／八幡宮御遷宮割方之帳／須弥寺縁起／五機内并近江大工柚木挽／御朱印旧日記／加地家文書「御定目」／加地家文書「介石記」／星田村庄屋文書／中野家文書／江戸時代の刑法／大塩平八郎関連／天筆如来について／中野家文書／御殿跡御石碑御営諸記／江戸時代の触書／森村庄屋文書／八幡宮御遷宮割方之帳／鎌田水論一件日記／私市村千手寺関連／権現様由緒書
市民文化財フォーラム	令和2年度	自然と歴史を通じたまちの発見／今、なぜ交野市文化財保存活用地域計画が必要なのか／交野市の民家・土蔵、景観—地域文化財悉皆調査から—／河内長野市文化財保存活用地域計画策定について／座談会—交野の文化財の将来を考える—

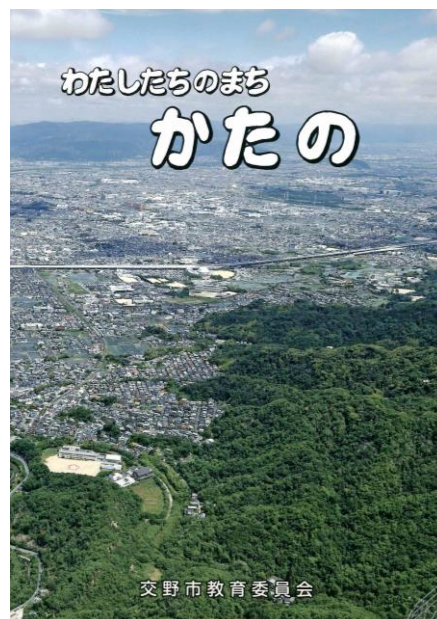
（２）学校教育との連携

①社会科副読本『わたしたちのまち かたの』

市内の小学校３・４年生の社会科副読本として利用されている『わたしたちのまち かたの』の内容は、歴史民俗資料展示室での展示を活用しています。

３年生の学習内容では、「交野市の歩み」の中で「昔のことを知っている人に、手紙で聞いてみようよ。」とし、昔の「駅前のように」、「使っていた道具」、「人々の生活」などを調査し、年表としてまとめる構成になっています。

さらに４年生の学習内容では「地域で受けつがれてきたもの」とし、「身近にある年中行事」や「大阪府や交野市の文化財」について調べることを通して、文化を継承する意味や大切さを学習する構成になっています。



社会科副読本

②学校支援

交野市立教育文化会館内にある「歴史民俗資料展示室」は一般に公開されている施設です。

平成 14(2002)年度からボランティアの協力を得て、市内の小学校からの展示室の見学や綿繰り体験等の受入れが始まりました。

しかし、令和 2 (2020)年度に新型コロナウイルス感染拡大防止対策で一時閉館となったことを機に、小学校への民具の貸し出しや、オンラインによる遠隔授業を実施することにより、感染症対策をとりながら学習支援を継続している状況です。

また、解説ボランティアが参加できないことから、体験学習等の規模や内容を縮小しています。



小学生の綿繰り体験

2-6. 「人づくり・しくみづくり」の取組み

（１）市内の活動団体の取組みと連携

本市にある文化財関連団体の中で、積極的に地域の文化財や歴史に関する催しを実施しているのは「交野古文化同好会」と「私部城を活かし守る会」です。交野古文化同好会では毎年「交野郷土史かるた」大会を開催し、私部城を活かし守る会では城に関する様々なイベントを行っています。いずれも子供たちに地元の貴重な文化財を繋ごうとするボランティア活動です。

（２）市内外の活動団体との連携

本市で、文化財に関連した活動団体が実施している主な取組みや、教育委員会が団体と連携した事業については、次の表のとおりです。また近隣の教育委員会や大学等から講師を招いて「市民文化財講座」を行っています。



市民文化財講座

表：関連団体の活動状況（地区の活動除く）

団体名	主な団体の取組み	連携した取組み
交野古文化同好会	交野市内所在の文化財の保全活動全般、交野市及び周辺に関連した定例勉強会、交野市内などの歴史健康ウォーク、小学生へのかるた大会等	文化財講座等開催支援
私市文化財保護推進委員会	地域の郷土文化（夏祭・秋祭）の継承 ・御神楽奉納行事（獅子舞） ・交野節（私市おどり）	交野節の調査支援
私部城を活かし守る会	私部城のPRと今後の保存・活用の活動、城を活かした小学生へのイベント開催	イベント開催支援
里山ゆうゆう会	石仏の道の整備、保全活動	—
薬師寺保存会	市指定文化財・薬師如来立像等の保存活動	老朽化対策支援
星のまち観光協会	観光事業の推進（ウォークイベント・観光ガイド） 地域活性化の取組み、魅力発信（かたのPRキャラバン、スポーツイベント等）	案内板設置指導・日英観光ガイドマップ作成支援
NPO 交野市国際交流協会	姉妹都市からの来訪時の市内観光ガイド 交野市観光ガイドのための英語学習	—
私部、星田だんじり保存会	「だんじり」の保存、祭礼への活用	—
交野おりひめ大学	交野の伝統的酒造りを活かした活動 交野の自然を生かしたイベント（交野カンヴァス）	—



『交野巡礼』（日英観光ガイドブック）

交野市星のまち観光協会と交野市国際交流協会が共同で刊行